

関西学院大学－オランダ戦争資料研究所 第4回国際共同ワークショップ

*“The Power of Healing – or the Healing of Power?
A Critical Workshop on the Memory of War”*

先端社会研究所では、2年に1度、オランダ戦争資料研究所（NIOD）との国際共同ワークショップを開催している。このワークショップは、記憶すること、特に戦争や大衆への暴力を記憶することをめぐる現在の実践について批判的考察を行うことを狙いとしている。記憶するという実践は、戦争被害者が悲しみを克服したり、社会が将来の災禍を回避したりすることに寄与する。したがって、この実践は癒しの力を持つのである。またその一方で、記憶することや記念することは、政治権力の正統化にとって有効な道具でもあるため、しばしば被害者以外の主体によって利用されることもあるのである。本研究所ではこのワークショップを通じ、国際的な学术交流および成果発信を更に推進していく予定である。その第4回目は以下の通り、本学にて開催された。本特集では、ワークショップに参加した4名（関学2名、NIOD2名）に当日のワークショップの成果について報告してもらうとともに、これまでの／今後の関西学院大学－オランダ戦争資料研究所の共同研究の展望について述べてもらった。

【日時】 2012年3月23日（金）、24日（土） 10:45-17:00

【場所】 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1402室